

議長
確認印

議会運営委員会会議録

1 日 時	開会 令和 7 年 12 月 12 日 13:09 (本会議終了後) 閉会 令和 7 年 12 月 12 日 13:52
2 場 所	委員会室
3 出席 委員	吉田克則、七宮広樹、吉田広明、鈴木元久、菊地哲也
4 欠席 委員	なし
5 出席要求者	副議長
6 職務出席者	議長、事務局長、書記
7 付議事件	第 1 令和 7 年第 5 回塙町議会定例会の検証について その他
8 議事の経過	<p>七宮広樹副委員長による開会</p> <p>吉田克則委員長によるあいさつ</p> <p>第 1 定例会の検証について</p> <p>(アンケートの内容を全員で確認)</p> <p>(委員長より記名欄の経緯を事務局に確認。議会運営委員会からの提案があり、議長と協議し 9 月議会より任意での記名欄を追加したことを説明。)</p> <p>委員長：まず会期についてどうか。</p> <p>菊地哲也委員：3 案の中から会期を選んだが、採用したスケジュールで良かったと思う。</p> <p>委員長：ほかなければ、1 日目についてはどうか。</p> <p>吉田広明委員：問題なかった。</p> <p>委員長：2 日目からの一般質問はどうか。</p> <p>鈴木元久委員：質問に対する答弁が長く、ベルが鳴っていた。</p> <p>委員長：質問はベル前に終わっていたが、答弁がベル後になっていた。全体的には適切な時間だったと思う。</p> <p>議長：通告内容の点で、デマンド交通の件について、バス交通の話題までは良いが、予算に関する質問があった。注意してもらいたい。</p> <p>委員長：注意を受けたことについては、素直に受け止めてもらいたい。</p> <p>副議長：アンケートから、質問を簡潔にとある。質問にたどり着くまでが少し長いのも見受けられた。</p> <p>吉田広明委員：自己の意見を抑えて質問を深堀りできたのではないか。「ありがとうございました」という発言が今回も出ていたが、注意が必要。寝ていた議員がいるとのことで注意が必要。難しいけれど工夫が必要。</p> <p>委員長：3 日目の一般質問はどうか。</p> <p>吉田広明委員：ある議員の塙町の給与や報酬に関する質問で、人事委員会の勧告に基づいて増減はあるが、他町村のデータを示す必要があるのか。ちょっと違うと思う。</p> <p>委員長：総務課長の答弁で、データを出すとの答弁があった。どう取り扱ったらい</p>

いか。

副議長：その質問をした議員には、調査特別委員会の資料を出すのは違うと申し入れた。

議長：総務課長の答弁は「出すことを検討する」で断定ではなかった。これから執行部内で話し合いがあると思うが、私も吉田議員と同じで他町村の資料を議場に出すべきではないと思う。全協などで示して、終わったら回収するようなものがいいと思う。

委員長：議長のまとめのとおりとする。この検証結果を各議員に確認してもらうこととする。その他あるか。

鈴木元久委員：傍聴席から居眠りを指摘されるのはどうか。今後どうしたらよいか。

副議長：該当するとみられる人には、休憩時間に声をかけた。

吉田広明委員：口頭での指導くらいしかできない。

議長：朝みんなそろっているところで声をかけるようにする。

副議長：完全に口を開けて上を向いており、区長会の情報交換会でも話が出た。悪いイメージと受け止められた。

七宮広樹委員：全体的な話で。今回傍聴が初めてという方が 12 人もいた。また来たいと書いてくれた人もいる。議会傍聴を増やしていくためにはいろいろな団体に声をかけた方が良い。活舌が悪いというのは、ボイストレーニングなどの研修があってもいい。居眠りについては塙町議会全体が悪く言われてしまう。室内暖房や食後などの要因もある。簡潔にという点は、決められた時間でお互いに気を付けていかなければならない。

議長：私も全体的な話で。個人をほめるのはどうかではあるが、七宮委員の質問は聞いていてテンポが良い。委員長が全協で提案したように、一般質問の研修会をするのも良い。来年には開きたい。

吉田広明委員：アンケートで、「自分が質問したくなった」とあるが、意見箱など傍聴者の意見を拾う機会があっても良いのではないか。

委員長：通告した中で思うことがあるというように受け止めた。

吉田広明委員：広報の立場からすると質問の要望なども聞けるのではないかという意味合いで発言した。

委員長：この件については、今後対応していくということで良いか。

七宮広樹委員：はなわホールで見ていた人にはアンケートが置かれているか。傍聴者はいたか。

書記：アンケートは議場入口のみ。はなわホール傍聴者の有無は確認していない。

七宮広樹委員：傍聴マナーについてチラシなどを入口に置いた方が良いのではないか。

書記：今後検討していきたい。

鈴木元久委員：はなわホールで見る人が結構いる。アンケートを置いた方がいいのではないか。

書記：事務局職員の状況を踏まえて検討していきたい。

委員長：個人的には傍聴規程がある以上、モニターでの傍聴は傍聴ではないと思う。

それは区別した方が良いと思う。

七宮広樹委員：満席の場合はモニター傍聴になる。総合窓口の職員にアンケート等対応ができるのではないか。

議長：七宮議員と同じで、足が悪くて議場に来られない人もいる。アンケート用紙を置くだけでも良い。総合窓口の職員で対応できるのではないか。ネットで傍聴する人も意外といるので、はなわホールの傍聴者にアンケートをお願いした方が良い。

副議長：アンケートの話が出ているが、議場で見てもアンケートに答えてくれない傍聴者もいる。アンケートにこだわらず、まずははなわホールで見ている状況を把握し、多い場合はアンケートを検討するということで、3月議会あたりに総合窓口の職員に人数を確認してもらつたらよい。

菊地哲也委員：昨日知り合いから、「用事で役場に来て、立ち止まってはなわホールで見た」と聞いた。数分と思うが。アンケートにこだわると足が遠のく場合もあるので、継続検討ということでどうか。

委員長：継続検討というまとめで良いか。居眠りという点については、本人重々わかっていると思うが、アンケートや検証の結果を確認するよう強くメールで周知してもらいたい。協議は以上とする。その他何かあれば。

副議長：その他の件で、区長会の情報交換会において、あいさつの中で、今後区長の皆さんに特別委員会のアンケートを実施した場合には協力をお願いしたいと話をした。

七宮広樹委員：以前駐車場に停める場所を示すコーンがあったが、今は無い。これからもフリーに停めて良いのか。

事務局長：庁舎建設で暫定的に停めていただいていたが、事業が完了するので、総務課と協議したい。

委員長：その他ないので終了する。

副委員長閉会

塙町議会委員会条例の第27条の規定により署名する。

令和　年　月　日

議会運営委員長